

施策評価シート(令和元年度)

(基本施策の大綱) 3. 交通拠点性を生かした都市活力の向上

(基本施策) (5) 広域的な交通拠点性の強化

(評価担当者)

総合政策部長 山本 伸治

基本施策が目指す姿

市内外の人が、高速交通ネットワークを活用し、広域的な交流・連携を行っています。

関連する分野別計画

成果指標

	単位	現状値		実績値					目標値
				H29	H30	R1	R2	R3	
1	億円	15.5090	H27	16.5106	17.0175	17.5212			20
2									
3									
4									
5									

市民アンケート調査

項目	現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [R2]	市民アンケートの考察
1 高速道路網が整備されている	重要度 1.05 満足度 0.63	1.07 0.63		高速道路網に対する市民の重要度はやや高くなっている中で、市民の満足度が伸び悩んでいる。新名神高速道路が急ピッチで進められていたため、市民アンケート調査の実施時期が、新名神高速道路の新四日市JCT・亀山西JCT間の開通前であったこと等、高速道路網整備状況の市民認知度が影響していると考えられる。
2	重要度 満足度			
3	重要度 満足度			
4	重要度 満足度			
5	重要度 満足度			

総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
B まずまず進んでいる	<p>リニア中央新幹線市内停車駅誘致の推進については、リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議の活動支援や県等関係機関との連携を通じ、概ね取組を進めることができた。しかし、予定していたリニア亀山市民会議主催の機運醸成のためのリアシンポジウムの開催が、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。また、リニア駅整備基金の計画的な積立てにより、基金積立額が目標額(20億円)の約87%に達し、リニア市内停車駅誘致後の周辺整備に向けた財源確保を図ることができた。一方、広域道路網の強化については、期成同盟会を通じて整備促進を働きかけてきた新名神高速道路の亀山西JCTが供用開始されたほか、鈴鹿亀山道路の都市計画決定に向けた環境影響評価の手続きが進められるなど、高速道路網の整備促進に繋がっている。</p>
反省点・課題	
<p>リニア中央新幹線市内停車駅誘致の推進については、JR等の動向を注視するとともに先行開業区間の整備状況を把握しつつ、全線開業と市内停車駅誘致について、リニア亀山市民会議の活動支援や関係機関との連携した取組を通じて、一層機運醸成を図っていく必要がある。また、市内停車駅の設置効果を最大限生かすことができるよう、駅を核としたまちづくりに向けた研究を引き続き行っていく必要がある。一方、広域道路網の強化については、鈴鹿亀山道路や国道1号関バイパスの早期実現に向け、関係自治体や関係機関との連携を一層強化しながら、継続した要望活動や更なる機運醸成を図る取組を行っていく必要がある。</p>	

今後の展開方針

リニア中央新幹線市内停車駅誘致の推進については、リニア三重県駅の候補地を目指すべく、リニア亀山市民会議への補助支援などの効果的な取組の実施や誘致活動の裾野を広げるための当市民会議の会員拡大などを通じて、更なる市民意識の高揚とリニア駅誘致自治体としての積極的なPRを展開していく。また、リニア市内停車駅誘致後の周辺整備に備える基金積立額の見直しや、先行開業区間の中間駅自治体の事案も踏まえた中で、市内停車駅誘致後のまちづくりに向けた研究を行っていく。一方、広域道路網の強化については、鈴鹿亀山道路及び国道1号関バイパスについて、関係自治体や関係機関と連携した要望活動や機運醸成に向けた取組を継続的にしていく。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向							
リア中央新幹線市内停車駅の誘致の推進							
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】				【左記の活動により、施策は推進できているか】	
B まずは進んでいる	活動	リア亀山市民会議の取組を支援することで、中央要望、リア鉄道親子学習会の開催、PRカレンダー・会報誌の発行等を通じ、リア市内停車駅の誘致活動を展開した。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、機運醸成のためのリアシンポジウムが開催出来なかった。また、リア亀山駅整備基金の計画的な積立を行い、当該基金残高が約17.5億円となった。	評価			リア亀山市民会議での取組をはじめ、県期成同盟会等と連携した取組により、リア市内停車駅の誘致活動が展開出来ているとともに、市を挙げた誘致活動として市民意識の高揚に結び付いている。また、リア亀山駅整備基金を目標額20億円の約87%まで積立て、誘致後のリア駅周辺整備に向けた計画的な財源確保を図ることが出来ている。	
	関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額 / 決算額 [千円]	活動	成果
	17066	リア中央新幹線整備促進事業	主	2,900 / 1,607	B	B	
	17067	リア中央新幹線亀山駅整備基金積立事業	主	50,371 / 50,371	A	A	
事業以外の取組		内容				活動	成果

施策の方向							
広域道路網の強化							
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】				【左記の活動により、施策は推進できているか】	
A 順調に進んでいる	活動	新名神高速道路建設促進期成同盟会、一般国道1号関ハイルス建設促進期成同盟会、鈴鹿亀山道路建設促進期成同盟会を通じ、関係市町及び関係者とともに、国・県に対して、要望活動を行った。また、市民団体(新名神と鈴鹿亀山地域の幹線道路整備を進める会)と協働で鈴鹿亀山道路建設に向けたシンポジウムを開催した。	評価			新名神高速道路亀山西JCTの完成、また、鈴鹿亀山道路の都市計画決定に向けた環境影響評価の手続きなど、広域道路網の整備促進に繋げることができた。	
	関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額 / 決算額 [千円]	活動	成果
					/		
					/		
事業以外の取組		内容				活動	成果
		新名神建設促進同盟会、関ハイルス建設促進同盟会、鈴鹿亀山道路建設促進同盟会要望活動等				A	A